ミニ探究・ミドル探究 単元一覧(2025.5)		想定時間	取組み方	学びの狙い	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力 人間性			関連教科
					知識	技能	探究の意義 価値の理解	課題の 設定	情報の 収集	整理 分析	まとめ 表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画	
ミニ探究 ＜活動を伴う体験学習＞	★0-1. できることは必ずある！ スケーリングクエスチョン	1	個人 グループ	1.メタ認知能力の育成 (スケーリングクエスチョン/ライフ・チャート) 2.できていることに注目する (スケーリングクエスチョン) 3.スモールステップで今できることを探る (ライフ・チャート)			●						●		保健 特別活動 道徳(中学校) 公共(高校)
	★0-2. 目標を達成するために 目標達成シート (マンダラチャート)	1	個人 グループ	1.目標を達成するために(なりたい自分になるために) 行動目標を立てる								●			保健 特別活動 道徳(中学校) 公共(高校)
	★0-3. 動物エゴグラム なりたい自分になるための 「はじめの一歩」	1	個人 グループ	1.自己理解 2.心の癖を知る 3.なりたい自分になるための方法を見つける								●			保健 特別活動 道徳(中学校) 公共(高校)

※　各単元で観点別評価の評価規準例を示しています。（◎＝最重要、●＝重要）
※　★は新規に追加された単元(教材)です。単元は今後も追加していく予定です。

アクチュアルサポートサイト：https://productive-border-c4a.notion.site/

ミニ探究・ミドル探究 単元一覧(2025.5)		想定時間	取組み方	学びの狙い	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力 人間性			関連教科
					知識	技能	探究の意義 価値の理解	課題の 設定	情報の 収集	整理 分析	まとめ 表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画	
ミニ探究 ＜導入レクリエーション＞	1-1. 自分の好きなモノ紹介	2～3	個人	1.自分の「好きなモノ」に関するエピソードを多く書き出す 2.自分の「好きなモノ」をエピソード入りの魅力的な発表にする	●				◎		●	●			国語/情報
	1-2. 他者の好きなモノ紹介	2～3	個人,ペア	1.友達から「好きなモノ」に関するエピソードを数多く聞き出す そのために楽しいインタビューをする 2.自分の「好きなモノ」をエピソード入りの魅力的な発表にする 3.他者の好きなモノを紹介するためにまず他者をよく見て，理解することの必要性を体験する			●		●	●	●	◎			国語/情報
	1-3. チーム（クラス）ルールをクリエイトしよう！	2～3	全体 グループ	1.クラス(チーム)の運営には一人ひとりが当事者として，互いの自由を尊重する努力を要することを理解できる 2.多量のデータを分析し，クラス(チーム)目標を導き出すことができる 3.個々人の価値観を尊重した上で，皆が合意できるクラス(チーム)のルールを策定できる			●	●		●		●	◎		保健体育 特別活動
	1-4. 学校の中の危険な場所を探す	2～3	全体 グループ	1.個人の有する課題意識は，興味・関心に基づいて異なっていることが理解できる 2.自分を取り巻く課題と社会を取り巻く環境のつながりについてICT機器を効果的に用いて，情報を収集・整理する 3.探究を通して自己を見つめ，自分の個性や特徴に向き合おうとしている			●	●	●			◎			保健体育 特別活動
	1-5. 中学の総合的な学習で何を学んだか	1～2	グループ	1.各自の発表から幅広い事例に触れ，高校の探究のポイントを知ることで高校の探究により関心を深める 2.各自の「総学まとめ」と「探究したいこと」を効果的に発表する			●				◎				総合的な学習の時間(中学校)
	1-6. 修学旅行オリジナルガイドブックを作ろう！	2～4	個人	1.多様な情報を分析し，自分なりの視点でまとめて読者が体験したくなるレポートを作成する							◎				国語/情報 /地歴公民
	1-7. オープンキャンパスへ行こう！	―	個人	1.大学を実際に訪れて，大学への関心・理解を深める	※ワークシートのみ										―
	1-8. 仕事を知ろう！ ～仕事インタビュー～	―	個人	1.仕事に関するインタビューを行って，仕事や働くことへの関心・理解を深める	※ワークシートのみ										―
	1-9. インターンシップに参加しよう！	―	個人	1.職場で実際に働いて，仕事への関心・理解を深める	※ワークシートのみ										―
	1-10. プレゼン型三者懇談	―	個人	1.三者懇談に主体的に参加する	※ワークシートのみ										―
	1-11. 商店街の活性化問題 (ケースメソッド)	1	個人 グループ	1.持続可能な地域の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々,組織があることを理解する 2.自他の考えの良さを活かしながら,課題解決に向け協同して学び合おうとする	●								◎		地歴公民
	1-12. 基地問題から考える 沖縄の平和学習	2	個人,全体 グループ	1.沖縄の基地問題を通して,平和は一国のみで成り立つものではなく国際関係が重要であることを理解する 2.事前学習や現地フィールドワークで得られた情報を分析し、共生できる未来を実現するにはどうしたらよいか考える	●					◎					地歴公民 (中学社会科)
	★1-13. なぜ大学で学ぶのか？	2	個人 グループ	1.大学で学ぶ意義を多角的に考察する 2.自分自身の価値観や目標と照らし合わせて大学で学ぶ意義を整理する 3.主体的に自らの進路について考える			●			◎			●		特別活動

※　各単元で観点別評価の評価規準例を示しています。（◎＝最重要、●＝重要）
※　★は新規に追加された単元(教材)です。単元は今後も追加していく予定です。

アクチュアルサポートサイト：https://productive-border-c4a.notion.site/

ミニ探究・ミドル探究 単元一覧(2025.5)		想定時間	取組み方	学びの狙い	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力 人間性			関連教科
					知識	技能	探究の意義 価値の理解	課題の設定	情報の収集	整理分析	まとめ表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画	
ミニ探究 ＜話し合い＋調べ学習＞	2-1. 名言、格言，キャッチコピーの違いとは	2～3	全体 グループ	1.適切な情報に基づき「論証」を行い，仮説を導くポスターにまとめ，他者へ伝えるための発表ができる 2.必要であると考えられるデータを収集し，分類，特徴づけをすることができる 3.自ら主体的に課題に対して参画し，グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ		●		●	●	◎	●		●		国語
	2-2. AとBどちらがいいか?	2～3	全体 グループ	1.比較分析の方法を習得している 2.比較分析のための情報収集ができ，その成果を整理し提示することができる 3.比較分析を通じて自分や他者の思考パターンに興味を持つ		●			●	◎		●			国語/情報
	2-3. 急な階段って!?	3	グループ	1.適切な情報をもとに課題を設定し，「論証」を行い，仮説に導くポスターにまとめ，他者へ伝える為の発表ができる 2.必要であると考えられるデータを収集し，分類，特徴づけをすることができる 3.自ら主体的に課題に対して参画し，グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ			●	◎	●		●		●		数学/理科/情報
	2-4. ざっくりと，でも緻密に	3	個人 グループ	1.「観察」「推測」のために適切な情報を収集でき，それに基づき「論証」を行い，一貫した論理を持つポスターにまとめ，他者へ伝えるための発表ができる 2.具体的な数値や情報をもとによりよい結論を導いている 3.自ら主体的に課題に対して参画し，グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ			●		●	◎	●		●		数学/理科/情報
	2-5. Aを実証するためには何をすればいい？(研究計画作り)	3	個人,全体 グループ	1.仮説を検証するための研究計画を作ることができる		◎									数学/理科
	2-6. SDGs入門	2～3	個人 グループ	1.SDGsを理解し，持続可能な社会の実現に向けた取組みの大切さを理解する			◎								SDGｓ関連の各教科
	2-7. インフォデミック(情報パンデミック)～その時あなたはどうしますか?～	2～3	全体 グループ	1.災害や疫病流行の際は歴史的に見ても，デマが流れやすいその時の対応を自らの問題として考えようとすることができる 2.情報の受け手として，事実確認(ファクトチェック)を行う能力と責任感について意識することができる 3.非常時の課題に対して，他者の考えも取り入れながら自らの考えを持つことができる			●			●	●		●	◎	情報/公民
	2-8. 脱炭素社会構築のアイデア	3	グループ	1.脱炭素社会に関する担当の資料をグループで協力し読み解き，他のグループに報告する 2.報告をまとめる際に，資料に書かれていない欠点をグループで協力して科学的思考・合理的判断で見つけ出す 3.決まった答えのない課題解決に協力して取り組む	●				●		●		◎		数学/理科/情報
	2-9. CNN教材×SDGsワークシート	2	個人,ペア 全体	1.受信→思考→発信の流れで4技能を身につける 2.社会を構成する一員として,決して身近ではない問題であっても関心を持つことができる										◎	英語/地歴公民
	2-10. 吸水ショーツをきっかけに，ウェルビーイングな社会について考える	2～3	グループ	1.「ウェルビーイング」「フェムテック」といった用語を，適切に理解し用いることができる 2.ウェルビーイングな社会に向けた具体的な課題解決策を考えることができる 3.グループワークを通じて，他者の意見や視点を尊重し，協働して課題解決に取り組むことができる			●				◎		●		家庭/公民/保健体育/

※　各単元で観点別評価の評価規準例を示しています。（◎＝最重要、●＝重要）
※　★は新規に追加された単元(教材)です。単元は今後も追加していく予定です。

アクチュアルサポートサイト：https://productive-border-c4a.notion.site/

ミニ探究・ミドル探究 単元一覧(2025.5)		想定時間	取組み方	学びの狙い	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力 人間性			関連教科
					知識	技能	探究の意義 価値の理解	課題の 設定	情報の 収集	整理 分析	まとめ 表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画	
ミニ探究 ＜話し合い＋調べ学習＞	2-11. フィボナッチ数列を調べよう	2	グループ	1.観察や実験の結果を踏まえ,既習知識を組み合わせて,自分の言葉で自然界の現象を他者へ説明することができる 2.フィボナッチ数列の基本的な性質について理解し,観察や実験の結果をもとに,考察を適切にまとめることができる 3.自ら主体的に課題に対して参画し，グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ		●			●	●	◎		●		数学/理科
	2-12. マラルディの角の秘密	2	グループ	1.観察や実験の結果について,既習知識を組み合わせて要因や根拠を考察し,自分の考えを他者へ説明することができる 2.具体的な数値や情報をもとに計算方法を考え,必要な値を求めることができる 3.自ら主体的に課題に取り組み,グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ		●			●	◎	●		●		数学A・Ⅱ/理科
	2-13. セッケン水の構造を知る	2	個人 グループ	1.観察や実験の結果を踏まえ,既習知識を組み合わせて,自分の言葉で事象や要因を他者へ説明することができる 2.表面張力の基本的な原理について理解し,観察や実験の結果をもとに,考察を適切にまとめることができる 3.自ら主体的に課題に取り組み，グループでの活動に貢献しようとする態度を持つ		●			●	◎	●		●		数学/化学
	★2-14. 生成AI(とAI検索エージェント)を使ってみよう	2	全体 グループ	1.生成AIの特性を理解し,生成AIから適切な回答を導き出す 2.生成AIの回答の妥当性を見極めた上で,自分たちの調査や意見も踏まえて発表資料を作成する 3.自他の意見や考えの良さを活かし,協同して活動に取り組む		●					◎		●		国語/情報

※　各単元で観点別評価の評価規準例を示しています。（◎＝最重要、●＝重要）
※　★は新規に追加された単元(教材)です。単元は今後も追加していく予定です。

アクチュアルサポートサイト：https://productive-border-c4a.notion.site/

ミニ探究・ミドル探究 単元一覧(2025.5)		想定時間	取組み方	学びの狙い	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力 人間性			関連教科
					知識	技能	探究の意義価値の理解	課題の設定	情報の収集	整理分析	まとめ表現	自己理解他者理解	主体性協働性	将来展望社会参画	
ミニ探究 ＜活動を伴う体験学習＞	3-1. ペーパータワー	3～4	個人 グループ	1.ペーパータワーの試行錯誤を通して，探究の良さに気づくことができる 2.作業工程をドキュメンテーション化していく方法を習得している 3.試行錯誤のプロセスをドキュメンテーション化して提示することができる 4.グループでの試行錯誤を自分自身が集団活動にどのように参画できるのか、省察することができる		●	◎				●		●		数学/理科/情報
	3-2. 紙コプター	3～4	全体 グループ	1.変数を自ら設定することができる 2.シンプルな探究を通して探究の意義や価値に気づく 3.変数の操作を使った課題設定(仮説づくり)ができるようになる 4.シンプルな探究を通してグループでの探究に関わっていく態度を身につける		●	●	◎			●		●		数学/理科/情報
	3-3. アンケートを作ってみよう	2～3	個人,全体 グループ	1.適切なアンケートを設計できる					◎						国語/数学/情報
	3-4. “NASAゲーム”でグループワークの良さを実感	1	個人 グループ	1.自他の良さを活かしながら協力して問題の解決に取り組んでいる									◎		理科/家庭/保健体育
	3-5. 日本の子育て家庭の課題	1	個人	1.複数の資料から，日本の子育て家庭の課題を読み取る 2.日本の子育て家庭の課題の対策案を，自身の経験や知識から考えまとめる		●				◎	●			●	国語/情報/家庭
	3-6. 自分の暮らす地域の課題	1	個人	1.必要な情報を探す方法を学び，探し出したデータから読み取れる内容をまとめる 2.複数のデータから読み取れる自分の暮らす地域の課題をまとめる		◎				●	●			●	国語/家庭/地歴公民
	3-7. 持続可能な学校のための CMづくり	2～3	個人 グループ	1.探究活動を通して身につけた力を活かし，発揮する 2.自分たちの身近な世界に目を向けて，「持続可能な社会」を阻害する要因を考える 3.異なる立場・意見を持つ人と協働しつつ，自身の主張を根拠や事例を用いて伝えようとする			●	●				◎			特別活動/情報
	3-8. 西オーストラリアの魅力を伝えよう	2	個人 グループ	1.多様な情報を分析し，自分なりの視点でまとめて，言葉だけで魅力が伝わるプレゼンテーションを実施する							◎				地歴公民/国語/英語
	3-9. ひな社長の挑戦	1～4	グループ	1.起業の流れを模擬体験しアントレプレナーシップを培い,生徒の社会参画意識を涵養し,自律的なキャリア形成の土台をつくる			●							◎	中学社会科(地歴公民)/国語
	3-10. 大阪の歴史に学ぶ 金融教育プログラム	2～3	グループ	1.大阪(大坂)の金融の歴史を通して,投資の仕組みを理解し,説明する 2.投資のメリットとデメリットを整理し,具体例をもって説明する		●				◎					地歴公民(社会科)/家庭

※　各単元で観点別評価の評価規準例を示しています。（◎＝最重要、●＝重要）
※　★は新規に追加された単元（教材）です。単元は今後も追加していく予定です。

アクチュアルサポートサイト：https://productive-border-c4a.notion.site/

ミニ探究・ミドル探究 単元一覧(2025.5)		想定時間	取組み方	学びの狙い	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力 人間性			関連教科
					知識	技能	探究の意義 価値の理解	課題の設定	情報の収集	整理分析	まとめ表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画	
ミドル探究	4-1. 地域のために何ができるか?	10	グループ	1.持続可能な地域は人々と生活や地域の特徴と深くかかわっていることを理解する 2.持続可能な地域の在り方について多面的に考えることができる 3.自らにできることを見つけられる	◎					◎				◎	地歴公民/国語
	4-2. 「古写真」から始まる歴史研究入門	10～12	グループ	1.「観察」「推測」のために適切な情報を収集でき，それに基づき「論証」を行い，一貫した論理を持つポスターにまとめることができる 2.具体的な経験をもとに歴史研究の意義や価値を説明できている 3.自ら主体的に課題に対して参画しグループでの活動に貢献しようとする態度を持つ			◎				◎		◎		地歴公民/国語
	4-3. スポーツパフォーマンスを分析しよう	10	グループ	1.仲間と協働する 2.パフォーマンス分析に必要な「観察」「推測」「論証」の３つの技能を習得する 3.自分自身で「動作」という視覚的情報を課題となる個所について文献をもとに推測し，数値化する		◎				◎			◎		保健体育/情報/数学
	4-4. SDGsを自分ごと化する	5	個人,全体グループ	1.身近な実社会に潜む諸問題への問題意識を持つことができる 2.具体的なアクションプランを作成することができる 3.身近な社会・生活の課題解決を自らのこととして取り組むことができる			◎				◎			◎	情報/理科/国語/家庭/地歴公民/保健体育
	4-5. 被災地を支援する	5	全体グループ	1.自分の意見に固執せず対立する意見のよいところを取り入れる 2.他者の意見を尊重しつつも自らの考えを伝える 3.対立や矛盾の中から有益な情報を見出し適切な解決案を提案できる							◎	◎	◎		情報/理科/国語/家庭/地歴公民/保健体育
	4-6. 首里城から考える「未来に残す」ことの意味(STEAMライブラリー)	7	個人グループ	1.大切だと思うモノを未来に遺していくためには，そのモノに関わる技術や価値，人々の想いなどが社会的に広く認知されていなければならないことを理解する 2.未来に遺していきたいモノについて，自分自身の行動も含めたアクションプランにまとめることができる 3.世界には様々な考えや価値観があり，自分とは違う意見への配慮や尊重が重要であることを理解して活動に取り組む	◎						◎	◎			地歴公民/国語/数学/理科/情報
	4-7. 京都探究プログラム	7	個人グループ	1.持続可能な地域の実現に当たっては，様々な要因が関係しあっていることを理解する 2.課題解決に向けて，情報を整理した上で，比較をもとにその情報を分析することができる 3.地域との関わりの中で自己の生き方を考え，自分にできることを見つけようとする			◎			◎				◎	地歴公民/国語
	4-8. ネットゼロを目指して ～カンタス航空探究プログラム～	5	個人グループ	1.実社会に潜む諸課題への問題意識を持つ 2.具体的なアクションプランを作成することができる 3.社会課題の解決を自らのこととして取り組むことができる			◎				◎			◎	理科/家庭/地歴公民/保健体育

※　各単元で観点別評価の評価規準例を示しています。（◎＝最重要、●＝重要）
※　★は新規に追加された単元（教材）です。単元は今後も追加していく予定です。

アクチュアルサポートサイト：https://productive-border-c4a.notion.site/